

12月定例金

12月定例会を12月7日から22日までの16日間の会期で開催しました。条例改正4 件、補正予算7件を原案どおり可決しました。

補正予算(一般会計) 主な内容(事業)

令和4年度一般会計

今回の補正額 <u>5億4171万</u>円

予算総額

79億3554万円







である

一般事業として75%を

通建設事業に充当できる起債 90%充当する。その他は、 管理推進事業として起債を

町債として補正をするもので

公共施設等の電気料金補正

充当し、

3億2590万円を

機で全部カバーできるのか。 問 設備更新後の非常用発電

チで切り替えて行く。 既存の高圧受電盤に接続され 図面上2系統あり、 発電機か高圧受電盤にスイッ 範囲として含んでいる部分は、 ている部分で動力部分の方を 発電機について、接続の 1系統が

内訳は。 庁舎別館改修に係る財源

な質疑応答

業として起債を100%充当 の経費における機能強化分に ついては、緊急防災・減災事 し、バリアフリー化に係る経 非常用発電・非常用電源

集落営農活性化プロジェク ト促進事業費補助金 国の促進事業の中で、

要

ができないので、前年度と比

答 あるが、 回の3法人の取組には違いが 体的な取組の実行とある。 件としてビジョンづくりと具 まずは、 かまわないのか。 ビジョンづくり 今

問 組内容に違いがある。 補助対象になるのか。 複式簿記の導入について、

終わっており、2段階目の取 が必須。今回の3法人は全て

なる。 も支援するための補助対象に 複式簿記の導入につい

費ついては、公共施設等適正

較して使用料自体が増加して る施設を明確にした。

職員の人件費について

企画総務費で一般職手当

きないか。 用料増加分に分けて明確にで 正について、電力高騰分と使 現実的に施設ごとの分析 公共施設等の電気料金補

10月

10月31日に第3回臨時会を開催し、補正予算1議案が上程され、慎重審議の結果、原案の とおり可決しました。

補正総額

(主な内容)

により扶養手当も増額

してい

||外勤務手当の増によるもの。

非常備消防費は増員と時

スに作成している。人事異動 予算で昨年12月の人員をベー

人件費については、

・電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金

いる。非常備消防費も同様だ がっているが手当は上がって について、一般職の給与は下

人事異動の関係か。

・農業用肥料・飼料・水利施設電気料金高騰対策緊急支援事業補助金

2614万円

臨時会

議会だより No.202

総務産業建設常任委員会

製 公共施設等総合管理計画について

◇計画策定の目的

将来にわたって安心で安全な住民サービスが提供できるよう本町が保有するすべての公共施設等の管理に関する基本方針等を定める。

◇対象施設

本町が保有するすべての公共施設等(公共施設およびインフラ施設)

◇公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する方針

方針①「保有量の縮減」総量の適正化 既存施設を有効活用し、可能な限り新規整備を抑制

方針②「既存施設の保全」質の維持・向上 定期的に点検・診断を行う予防保全型の管理と 長寿命化の推進

方針③「運営の見直し」機能の効率化 職員の専門的知識の蓄積や技術向上、人材の確 保および育成への取組

方針④「維持管理経費の縮減」コスト縮減 機能の効率化による維持管理コストの縮減



竜王南部地区防災センター(岡屋地先)

◇数値目標

令和12年度までに公共施設の延床面積を2%程度縮減(平成26年度比)

主な質疑応答

- (責) 35年間で更新費用が年間平均14.8億円かかると示されているが、町の財政的には問題ないのか。 人口がかなり減少するような予想をしている中で、公共施設の削減率はその人口比率よりもかなり 低い。もっと大幅な削減をする必要はないのか。
- 答保有量や維持管理経費の縮減等計画に定める基本的な方針により、公共施設の維持管理に係る費用を抑えていく。町にとって最適な施設配置となるよう努めるとともに、財政とのバランスをとりながら施設の維持管理をしていきたい。

豐

国道8号西横関交差点改良事業について

◇事業概要

主要渋滞箇所に選定されている西横関交差点において渋滞の解消を図る。

- ・国道8号の野洲側の右折レーンを延伸(40m→85m)
- ・交差点前後区間の道路中心線のズレ修正による見通しの確保
- ・交差する国道477号のJR篠原駅側に右折レーンを新設(30m)

◇経過および今後の予定

令和4年度 国・県事業施工区分協定、税務署協議、用地交渉(建物1件契約済)

令和5年度(予定) 用地交涉、一部工事着手(国道477号)

令和6年度(予定)工事着手(国道8号)

教育民生常任委員会



竜王町の小中学生における不登校・いじめ・道徳教育について

◇不登校生数の現状と対応

令和4年9月までの不登校生数は、中学校10名で増加傾向、小学校6名で減少傾向にある。全国における発生状況のような急激な増加の傾向にはない。

教育委員会の不登校生にかかる対応・指導体制:町いじめ別室対応支援員の配置拡充、町SSW(スクールソーシャルワーカー)による相談体制の推進、町小学校低学年支援員の配置・町学習支援員の複数配置、教職員研修会の実施、家庭教育支援事業の推進

竜王町立学校の不登校生にかかる対応・指導体制:別室対応、放課後登校支援、SC(スクールカンセラー)・SSWを交えたケース会議、町SSWによる各校訪問による相談体制の整備、スクーリングケアサポーターによる児童生徒の支援、ICT機器の活用

関係福祉部門との連携強化による不登校生にかかる対応・指導体制:要保護児童対策地域協議会ケース会議の参加・情報共有、適応指導教室(自立支援課)との連携

◇いじめの現状と対応

令和4年9月までのいじめ事象は、小学校40件、中学校16件でともに減少傾向にある。令和2年度はコロナ禍のため学校への登校日数の減少により友達との関わりが減ったことも一因と推察される。

竜王町の小中学生におけるいじめ事象への対策

①[いじめ]を起こさせない・未然防止に努める ②[早期発見・対処]に努める ③[重大事態]への対処

主な質疑応答

- (責)「いじめ」においては早期発見、未然防止が重要とされている。スマホでいじめは潜在的にあると思われるが、どのように対応しているのか。
- ② スマホに関しては学校で起こっている場合はほとんどなく、家庭において起こってしまうため潜在的な中で行われることが多く把握が極めて困難だが、子どもたちの会話等から見つけることがある。中学校では担任とのライフノートを毎日実施しており、その中で発見されることもある。

◇道徳教育の取組

「特別の教科 道徳」誕生の背景

- ・大津のいじめや川崎の少年犯罪などの事件発生、SNSの急激な普及、家庭や地域の教育力と規 範意識の低下
- ・自己肯定感、自己有用感の低下

課題解消に向けての取組

- ・自己肯定感を高めるために楽しい授業と分かる授業の実施、さらに、体験を重視し勤労体験学習(チャレンジウィーク)の実施
- ・キャリア教育の視点を大切にした事業(スピーチ大会等)の実施、子ども自らのルール作りに よる友だちとのつながり、地域との連携から地域とともに歩む学校への取組

主な質疑応答

- (音) 生徒指導の場面では、児童生徒にはどのような指導をしているのか。
- (全) しっかりと話し込むことが必要で、複数で対応しながら気持ちを荒げてしまった原因を探って共感しながら、どうしていこうかということをゆっくり話して、保護者にも連絡させてもらいながら一緒に進めている。

地域活性化特別委員会

響」

中心核整備(交流・文教ゾーン)の進捗について

◇中心核整備事業の取組経過

- ・ 9月29日 交流・文教ゾーン整備に伴う下水道管路調査実施
- ・10月28日 中心核整備事業に伴う配水管布設設計業務着手
- ・10月31日 開発計画事前審査願提出
- ・11月 4日 交流・文教ゾーン整備に伴う用地測量業務着手
- ・12月 1日~3月下旬 配水管布設設計業務および用地測量業務に伴う測量作業、現地調査
- ・12月 6日 綾戸地権者代表協議(埋蔵文化財試掘調査等)

◇今後の事業取組について

- · 埋蔵文化財試掘調査
- ・活用できる補助金等の調査・協議
- ・収用事業認定申請に向けた事前協議
- ・開発等許認可関係機関との協議
- ・新設道路等整備に向けた関係機関(県・警察・町)協議
- ・綾戸地区と整備にかかる調整

主な質疑応答

- **(音)** 地質調査を8月から実施しているが、土質はどのような内容だったのか。
- 管 地質の状態については基本的に粘性の土質ということが確認され、液状化しにくい地盤であった。 圧密試験により基準では10㎝沈下する場合は対策が必要であるが、約3.3㎝沈下するという結果が 出ている。造成は1年かけて、また建築はさらにその後となるので、ある程度沈下は収まると考え ている。

議会ICT化特別委員会



活動報告と町におけるモバイル端末導入の概要について

◇活動報告

10月5日および11月2日に委員会を開催し、タブレット端末の機種の確認、議会ICT化に向けた 今後のスケジュール、運用規程および内規の検討を行った。

◇町におけるモバイル端末導入の概要

- ・5年以上を経過したパソコンの更新180台
- ・11月から12月にかけて正規職員は全て更新対象とし、会計年度任用職員も一部更新対象
- ・リプレース端末は、モバイルノートパソコン(A4サイズ)、ディスプレイ13.3型
- ・ペーパーレス会議の推進、Web会議の実施、テレワークの本格運用等を検討

主な質疑応答

- (高) モバイル端末を庁舎外へ持ち出す場合のガイドライン等の作成状況は。
- **谷** 現時点では、5年以上経過したパソコンの更新を優先し、まずは職員がモバイル端末に慣れるところから始めたい。ルール作り等は早急に検討していくべきだと考えている。

12月定例会では11議員が 23問の一般質問を行いました。

一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来 の方針などについて所信や疑問を質し報告や説明を求めることです。

ページ	質問者	質 問 事 項
8	中村匡希議員	・マイナンバーカードを持つメリットは ・交通税についての意見は ・ボルダリング施設の指定管理の考え方は※
9	森島芳男議員	・消防団の団員数の考え方は ・近江八幡竜王線のバイパス化は
10	磯部俊男議員	・ワクチンの接種状況は ・ケンケト祭りの支援は
11	福田優三議員大前セツ子議員	・無形文化遺産で町の魅力発信を ・町をあげての交通安全運動を
12		・重層的支援体制整備事業の現状は・観光行政の考え方は
13	小西久次議員	・効率的な事業推進のために ・西部地区開発の方向は
14	尾川幸左衞門議員	・下水道への工場排水の取込時期は ・県道春日竜王線の伐採は
15	澤田満夫議員	・岡屋口交差点の渋滞解消を ・山中橋付近の右折レーンの設置は
16	橘せつ子議員	・中心核の交流・文教ゾーンの整備費は ・子どもの給食費に無償化等の助成を ・子どもの高校卒業までの医療費無料化を※ ・原発事故等に対する町の対策は※ ・町としてインボイス制度の導入に向けての課題と対策は※
17	岡山富男議員	・竜王町に若者を

※紙面の都合上、掲載しておりません。 QRコードから、全ての質問がお聴きいただけます。

次回の一般質問は

令和5年3月20日月予定

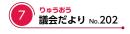
議員の質問順は町ホームページでご確認ください。

圖 議会事務局 電話 0748-58-3713

各議員のQRコードを スマートフォンで読み 取ると音声配信が聴け るよ



近江うし丸



マイナンバーカー ドを持つ メリットは

町独自の施策を今後検討していきたい

5,467件 5,508件

5,548件

令和4年度の竜王町のマイナンバーカード申請数の推移

5.698件

5,993件

6,637件

8,271件



①マイナンバーカード じられているが、本町 て伺う。 における次の点につい

②現在の町内の申請率 町独自のメリットを 整備する考えは。

③本町職員の申請率は。

使用した場合、証明書 マイナンバーカードを になるなどの施策も講 等の発行手数料が割引

②ワクチン接種会場や自 たい。 治会の公民館等で申請

③本町職員の申請率は、 00人の方に申請を頂 り、11月末現在約83 75%となっている。 70%に達している。 窓口を開いたこともあ た。本町の申請率は

を持つことによる本

7

答

かるべき段階で働きかけと意思表

自治体によっては

問

①身近なメリットとして 町単独施策につい も今後検討していき

町で唯一鉄道の駅がな の導入が検討されてい る。竜王町は県内19市

けをするのか。 県にどのように働きか る。今後竜王町として 税の効果が不透明であ い自治体であり、交通 で初めてとなる交通税 通の維持のために全国 滋賀県では公共交

答

県は滋賀交通ビジョ

町内の路線バスやチョ

を検討しているが、 ンの見直しと新しい税制

本町

題であり、 通ビジョンや税制に町民 であると考えている。 ていくことが極めて重要 の声や町の考えを反映し 交通の不便さが大きな課 い。本町としては、 への意見照会等はまだな 今後、 、県の交 公共

納得感を得られる形を目 町民をはじめ多くの方が 地域公共交通の維持や充 を含めて、本町に関わる 指していく。 かけや意思表示を行い、 るべき段階で県への働き 実につながるよう、 イソコりゅうおうをはじ JRや近江鉄道など しか

滋賀交通ビジョン 滋賀と周辺圏域の広域的発展と 県民の暮らしを支える交通を目指して 滋賀県

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

見直しが進められている滋賀交通ビジョン



問消防団の団員数の考え方は

答 地域の防災組織のあり方を見出していく

消防団員の活躍は無くてはならないと思うが、現在の団員では活動に支障を来すのではないか。その為には町として対策が必要と思うが、

害・火災など想定外の

多く見うけられる。水被害を受けられた所が

答

必要性を強く訴え要望する

災害が発生した場合、

震・水害などで大きな

全国各地では、

後の防災組織のありかた と自治会連絡協議会役員 という視点で消防団幹部 による協議を始めた。今 じていく必要があると考 が進み、今後団員の確保 設置や女性消防隊の設置 地の整備による行政区の 設置され、新たな住宅団 について、「地域防災力」 の自主防災組織のあり方 えている。消防団と地域 が困難となり、対策を講 なっている。少子高齢化 22年度から現在の定数と 30年に町制施行に併せて による増員を経て、平成 本町の消防団は、 昭

今年7月防田 电玉町消防

竜王町消防団

考えてはどうか。 路をバイパス化として 増加とともに、大型車 り、庄・林・川守・岩 枚橋交差点改良によ 幡竜王線は国道8号六 上までの別ルートの道 林・川守・岩井・山之 な状況であると思う 密集で改修工事が困難 である。集落内は人家 道路であり、大変危険 両も増加している。特 井の集落内の交通量の 閰 に岩井より北側は狭い 安吉橋より庄・ 主要地方道近江八

答 当該路線は、庄・ 林・川守・岩井地先にお いて、集落内を通過して おり、車道幅員が狭く路 肩もほとんど無いため大 型車両の離合が困難な状 型であり、人が歩くのも 危険な状況であると認識

による対策が必要であるは、集落内を通過する生は、集落内を通過する生は、集落内を通過する生

に 事、東近江土木事務所長民 と考えている。滋賀県知



近江八幡竜王線川守地先

も粘り強く要望する。訴え要望している。今後にそれぞれ必要性を強く

ワクチンの接種状況は

県内市町最高の接種率で推移



フルエンザワクチンの 新型コロナ・イン

体では39・9%である。 65歳以上が67・6%、全 ら64歳までが37・1%、 月12日現在12歳から39歳 よる個別接種を実施。12 までが15・8%、 団接種、町内医療機関に より竜王町公民館での集 ワクチン接種は10月23日 全体の接種率において 40 歳か

間で約65%の接種率であ 高い水準となっている。 となっている。例年、年 ることから大きな変化は な65歳以上の高齢者にお いては、約55%の接種率 のワクチン接種状況 季節性インフルエン 県内市町のうち最も 接種状況が把握可能

オミクロン株対応の

接種が進むよう取り組む。 れる。 れることから、 なく進んでいると見込ま スとの同時流行が懸念さ 新型コロナウイル 引き続き

集団接種会場の様子

圕 への支援は。 遺産登録ケンケト祭り ユネスコ無形文化

等の調達にかかる費用の 一部助成等を考えてい の保存伝承に向け、衣装 産への登録を機に、一層 ユネスコ無形文化遺

書館での記念展示会の開 啓発に向けた公民館や図 動への支援、ユネスコ無 供・助言等での保存会活 成功事例などの情報提 形文化遺産登録の周知・ 育成に向けた取組状況、 会や全国における後継者 各種広報媒体での周

> と考えている。 内外へのPRに努め、観 知等を進める。 光振興に繋げていきたい る観光行事」として、 さと竜王の「魅力あふれ んと手を携えながらふる 加えて、関係する皆さ 町

問

町内外へのPRに努め、

また、県内他市町保存 観光振興に繋げてい



福田

等は検討している

無形文化遺産で町の魅力発信を

町として取り組んでいく

答

①町外の方々に向けて歴 歴史遺産を巡るウォー 史講座や展示会開催

③山之上だけでなく竜 あるのか。 検討していることは あると思うが支援等 王町の各字それぞれ ような取組を考えて 援、また連携が必要 に伝統的な祭り等が いるのか。 となってくるがどの

④滋賀県各地で行われ 考えているイベント として登録されたが ている風流踊も今回 各自治体と連携して 同時に無形文化遺産

ても提案していきたい

ケンケト祭り長刀振り

②町としては郷土に伝わ 県とともに町の補助金 にかかる費用に対し国 さぬよう、修理、新調 る民族芸能の灯を絶や 習を行う等の機会を設 をもって支援したい。 けていく。 も達に対しては郷土学

①登録を契機に竜王町

て次の4点について伺

ネスコ無形文化遺産に 登録されたことを受け

ケンケト祭りがユ

キング等の実施、子ど

②地元の保存会への支

いくのか。

にどのように進めて の魅力発信を具体的

③各字の祭りの現状を把 ④令和5年1月29日には 行事への可能な限りの もに個々の祭り等伝統 理し後世に伝えるとと 見交換会の開催につい 育成をテーマにした意 ある。その他、 念講演会が開催予定で 草津市において登録記 支援をしていく。 記録資料として整 後継者

大前 セツ子 議員

町をあげての交通安全運動を

関係機関と連携し啓発を進める



信号機のない横断歩道

いる。 間を通して実施されて いて伺う。 ファースト運動」が年 数は。 そこで、次の点につ

②「横断歩道利用者 ①過去5年間の交通事 故と信号機のない横 断歩道での事故件 ファースト運動」の

周知や啓発活動を推進

し交通事故抑制を図る。

るみ運動では、「交通 指し「横断歩道利用者 事故のない滋賀」を目 交通安全県民総ぐ

②当運動は、駐在所が発 度は低い。今後はしる 行する「竜王だより」 歩道では3件。 60件、そのうち横 通事故発生件数は2 ルも活用し、継続して みる竜王等の情報ツー で周知しているが認知



①本町における平成29年 から令和3年までの交

点を伺う。

備事業について次の3

整備する。

対策として研修体制を

問

重層的支援体制整

層的支援体制整備事業の 見状は

地域との更なる連携強化を目指す



③本年度重点的に取り ②本事業の課題と具体 ①現状の制度や事業の 的な対策は。 狭間で潜在的に困っ 方法は。 ている方を見つける

年度の目標は。 組んでいることと来

答

①既存の業務の中で接点 ②住民福祉部門の課の分 化 を持つことや民生委員 散、相談職配置の固定 くりを進めている。 別相談を通して接点づ 加えて自立支援課の個 から情報を得ること。 部門を超えた連携

と。ソフト面での課題 的な相談体制の実現や の現状把握に努めるこ テーションおよび地域 計画的なジョブロー 口の一本化による包括 の課題。対策として窓 の難しさ等がハード面

が図れていないこと。

は、相談支援の標準化

重層的支援個別会議の様子

③対象者像を明確にし を共有すること。 じていることを受け止 気になる方や心配に感 協議会を中心に地域で 指す。また、社会福祉 の更なる連携強化を目 る職員の育成と地域と 様な課題へ立ち向かえ ている。来年度は、 関する具体策を検討し 議で議論を重ね体制に 支援に向けたビジョン 重層的支援政策会 多 ま

める機会を増やす。

③今後の方向性は。

①平成29年175万79 00人、平成30年16

②平成30年12月から令和 6万4100人、令和 会しまとめている。 要領」に基づき、年間 光入込客統計調査実施 2500人、令和3年 光施設へ入込客数を照 1000人以上の各観 計方法は、「滋賀県観 134万140人。集 人、令和2年122万 元年160万4300

MITSUI OUTLET PARK

大型商業施設の外観

地域資源の磨き上げを行う

①竜王町の観光人口の 問 て、次の3点を伺う。 過去5年間の推移と 観光行政につい

②びわこビジターズ 況は。 ビューローから提供 その集計方法は。 統計データの活用状 されるモバイル空間

> 基に地域別、 可視化した。 定量分析、分布分析し 年代別に

> > ③既存の観光施設に新た にバージョンアップさ の磨き上げを行い、 な施設を加え地域資源 常

ら抽出されたデータを

で携帯電話位置情報か 3年11月までの3年間



効率的な事業推進のために

次年度に向け執行体制について検討

るが町の見解は、 は大変重要であり、今 進することが重要であ が限られた中で、 会開催に向け、専門職 年滋賀国民スポーツ大 する。さらに2025 多くこれらの維持管理 め国宝・重要文化財も 員一丸となって事業推 なっていないか。 るが、職員負担過多に 等人事配置がされてい 後行政の関わりが増大 全職 期限

り組む。 埋蔵文化財調査、滋賀国 備については今年度から 年度に向け教育委員会内 がある。文化財調査及び 形文化遺産登録保存継承、 実に準備が進むように取 度は組織体制を整備し着 2名増員した。令和5年 中である。国スポ大会準 負担過多は否めない。次 文化財関係業務は1名で、 苗村神社防災施設整備へ スポスポーツクライミン の助言指導等多くの事業 グ競技開催、ユネスコ無 で執行体制について検討 教育委員会部局では



埋蔵文化財発掘調査風景

策・公共施設のあり方 の見解を問う。 ラ整備・人口増加対 考える。今後のインフ だ開発の余地はあると りが進められた。しか として開発が進み活性 部においては、竜王-ないが西部地区にはま 減少に歯止めがかから し、少子高齢化と人口 化と魅力あるまちづく C周辺や美松台を中心

地利用による企業誘致 周辺の商業・工業系の土 がみの里周辺③竜王IC 住宅用地②道の駅竜王か る竜王西小学校周辺他の ン中で(①地区計画によ 計画区域の整備、 に「近江八幡八日市都市 や都市計画マスタープラ 滋賀県では、令和7年 を計画している。 第七次国土利用計画 開発及







計画された西地区区域と竜王西小学校

問 機を逸することなく整備する 一部地区開発の方向は

り「風流踊」がユネス

山之上ケンケト祭

内には苗村神社をはじ コ登録され、また、町

町内西部地区山間

び保全の方針」が見直さ 編入の可能性が高まれば、 れるので、市街化区域の なく必要な整備を図る。 ラ整備も機を逸すること 道路や上下水道のインフ



9㎡/日で、このうち

工場排水は、

最大汚水量は、719

事業計画では、

下水道への工場排水の取込 時期は

将来は下水道接続を視野に入れて いるが現時点では未定



地が入っていないが取 9522㎡/日であ 込時期は何年度の予定 る。事業計画には大手 自動車会社、さくら団 計画では、15406 一日である。また全体 /日で工場排水は、

れているとのことです は下水道接続も視野に入 実施しており、将来的に 協議は、平成30年8月に 自動車製造会社との

討していく。

ないが、中長期的には検 ない。現時点での予定は だき、 こと等から接続が見込め 助がなされていることか 理浄化槽を設置していた 続年度は申し上げられな のではなく現時点では接 なること、受益者分担 している。)公共下水道 行わないことから合併処 に接続するには、 し設置費用の一部を補助 接続費用が発生する 適化法の処分対象と (当面 さくら団地について 国の交付金を活用 下水道整備を 国庫補

確約がとれているも

7,199 8.000 6.000 4,000 2.000 0 全体計画 事業計画 m³/日 ■生活 ■工場 ■その他 ■地下水

汚水量の区分図

15,406

があると思うが伐採し 父川鵜川橋左岸洪水敷 経緯なのか。 ないのは、どのような ると当然伐採する必要 る。通行のことを考え 通行帯が狭くなってい 積雪時は道路に傾斜し 密集しており台風時 法面は、木および竹が 行っているが県道の両 問 鵜川集落が除草を 県道春日竜王線和

もあり、その都度、道路 竹が道路に倒伏したこと 触すると連絡があり伐採 また、最近では、路線バ 応していただいている。 江土木事務所において対 管理者である滋賀県東近 していただいた。しか ス会社からバスに竹が接 いて、台風や降雪時には 過去、当該路線にお

県道春日竜王線鵜川地先付近

答 問 県に対して予防的な伐採を ていく

竹木の生長は著しい 的になることが多く、 ため、県での対応は事後 今 伐採を要望していく。 後、県に対して予防的

18,000

16,000 14,000 12.000 10.000



口交差点の渋滞解消を

令和5年度に右折レ ーン延伸予定

か伺う。

様に取り組んでいくの

の確認と、町として今 後この課題に対しどの

そこで現在の進捗状況 改良の要望が出された。 に解決策として交差点 の通勤時間帯での渋滞 形状と大手自動車会社 交通事故リスクが高い

岡屋口交差点は、

立会いを行い、交差点の

屋地区では、令和元年 という課題を抱え、岡

警察と岡屋自治会で現地 令和3年5月に県・町・ 当該箇所については、

答

今後の進捗状況を注視し きるよう進めていると聞 図面を基に右折レーンの 対して、県からは、現況 ていきたい。 令和5年度に工事着手で 令和4年度内で完了させ、 延伸する為の詳細設計を、 を把握した。この現状に 渋滞が発生している状況 いている。町としては、 直進車両の進行を阻害し した。その結果、 右折レーンの課題を確認 レーンの距離が短いため 右折



岡屋口交差点

来る対策を検討するとの 警察・山中と岡屋自治会 令和3年5月に県・町・ 回答があった。そのこと 差点形状を変えないで出 するのは困難であり、交 交差点改良を直ちに実施 からは右折レーンを伴う で現地立会いをした。県 当該箇所については

から、 をしてもらった。今後は 減速を促す区画線の設置 調整および車両の誘導と の撤去を行い、標識板の 緑地帯にある看板

要望を行う。 認識を高められるような 路面表示も効果的と考え 通行車両に対し交差点の ており、県に対し必要な

問 山中橋付近の右折レーンの 置は

引き続き、 県に対し必要な要望を行う

問において右折レーン 第4回定例会の一般質 町中心部から山中区・ 中橋付近の交差点は 圕 その後の進捗について の設置を要望したが、 のことから令和2年の 追突リスクが高い。そ 機しなければならず、 する場合、右折のため さくら団地方面に進行 に走行路線で長時間待 国道477号の山



国道477号湖南市との境界付近

^{りゅうおう} 議会だより No.202

中心核の交流 整備費は

健全な財政運営が可能と判断している



う。 整備を進めるのか伺 なぜ約55億円の中心核 まれる」との事だが、 約9.億円の不足が見込 を維持し続けると、年 在の公共施設等の規模

うが町の考えは。 を示す必要があると思 後の返済予定が出され た根拠となる財政計画 と約35億円の起債発行 約55億円の概算予算

る。 超えない範囲で健全な財 となる見込みで、基準を 比率はピークで16%程度 他建設計画を踏まえて財 政運営が可能と判断して 施した結果、 政シミュレーションを実 公共施設等の改修、更新 いることから整備を進め にかかる費用およびその 実質公債費

コロナ禍に、物価

限られた町財政の中で取捨選択が必要

の時期にお示しする。 盛り込みつつ、それぞれ 学校はじめ各施設のでき るだけ正確な整備費用を 中長期の財政計画は小

の竜王町公共施設等総

令和4年3月改訂

合管理計画では、「現

中心核整備を含んだ

竜王小学校建設予定地 問 考える。 町では令和2 等の助成施策が必要と 年度にコロナ対策とし そ学校給食費の無償化 なってきており、 とってまさに命綱に しい状況である。 高騰で生活も家計も厳 給食は子ども達に

今こ

必要と思うが町の考え ともあり、ぜひ実施が 費無償化を実施したこ て3か月間の学校給食 小中学校の給 食

約5千万円が必要とな 担となる。実施にあたっ することが必要と考えて た町財政の中で取捨選択 する必要があり、 ては何か他の歳出を削減 の無償化には恒常的に 町財政には大きな負 限られ



ふるさと給食



No.202 議会だより



問 竜王町に若者を

中心核(居住ゾーン)の整備を本格 的に検討する



大手自動車会社寮生との意見交換会

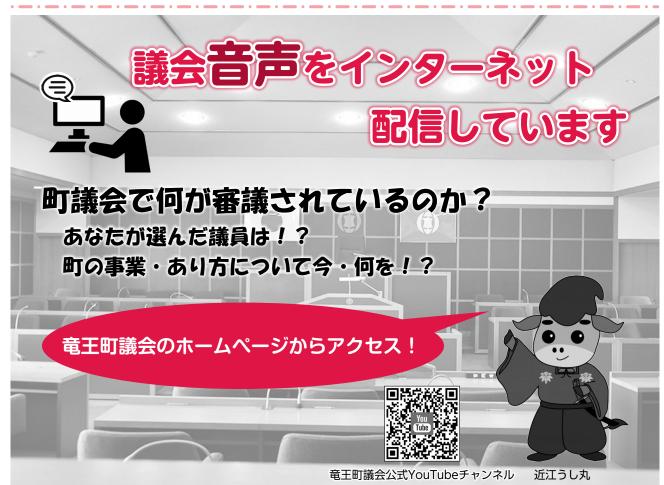
が続いている。一方で、 のインフラ整備など課題 ては、土地利用による制 集合住宅の建設に当たっ 先の集合住宅は満室状態 ニーズは高く、 道路や上下水道等 民間の開発の障 松が丘地

> 住まい補助金」制度を設 新築やリフォームの補助 賃補助を、自己用住宅は けており、集合住宅は家 ては「若者定住のための 格的に検討を進めていく また、ソフト事業とし 町内に留まって

は 間

若者への定住対策

けでなく、集合住宅の建



兼紙

鏡神社と御幸山



つくる新しい顔を意識した心きた地域の価値観・竜王を形 象風景です。 生業・現在まで受け継がれて 各地に根付く、風習・人々の「竜王新古今八景」とは、町内

をする竜神信仰と結びつき、その名に は、農耕を生業とする当地で、雨乞い 名残をとどめ町名になった。 町内の東西両端に位置する竜王山

性化の一翼を担っている。 り、近年は観光スポットとして地域活 には国宝や重要文化財の建造物があ の祭事も今に引き継がれている。境内 る住民の信仰を物語るがごとく、伝統 鏡神社は、悠久の歴史があり長きに渡 竜王町の東西に鎮守する苗村神社と

が今に伝えられている。 のほとんどには神社があり、 また、町内の旧来より点在する集落 氏神信仰

きたこの地の五穀豊穣と氏子の安寧を 手神社の氏神も、農耕を主産業として なお、裏表紙の「竜王八景」 国指定の重要文化財である岡屋の勝 地区の守り神として崇敬されて は、

編 华 後 飽

<mark>りゅうおう</mark> №.202 議会だより

値上げラッシュをもたらし、私た 年でありました。 ちの暮らしに大きな影響を与えた に係る世界情勢は、急激な円安と 昨年のロシアのウクライナ侵攻

新年を迎えました。 の完成に加え、中心核整備も進み 認定こども園の開園と学童保育施 設の整備およびボルダリング施設 竜王町では、優良企業の進出

がる年となりますよう心からお祈 とりまして安全と安心、希望に繋 厳しい状況が続きますが、皆様に り申し上げます。 であり、私たちを取り巻く環境は 本年も、相変わらずのコロナ禍

面づくりをめざしてまいります。 本年もどうぞよろしくお願いいた します。 プを図り、皆様に読んで頂ける紙 私たち広報委員は、スキルアッ

議会広報特別委員会

副委員長 委員長 森島 鎌田

員 員 澤田 尾川幸左衞門 俊男 満夫

委 委

〒520-2592 滋賀県蒲生郡竜王町小口3

☎ (0748) 58−3713

王 議

の鏡神社と御幸山です。

■発行・竜 ■編集・議会広報特別委員会

